

これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。
This is not an official record by the meeting organizers. Do not quote.

タイトル	<p>持続可能な気候変動プロジェクトおよびバイオマスエネルギーマーケットの機会</p> <p>Opportunities for sustainable climate change projects and the biomass energy market</p>
主催	アルゼンチン ミシオネス州環境省
日時	2004年12月6日(月) 13:00~15:00
主要討論者	Luis Jacobo 氏(ミシオネス州環境省)、Juan Gauto 氏(ミシオネス州森林次官)、Fernando Cubilos 氏(世界銀行カーボンファイナンスユニット)、Brian Dawson 氏(UNDP)
傍聴者	約40名
目的	アルゼンチン北東部のミシオネス州におけるバイオマス発電や水力発電、また土地利用プロジェクトの可能性を紹介。
発表の概要	<p><ミシオネス州の発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バイオマス、水力(大規模・小規模)都市ごみ埋立地からのメタン回収、LULUCFなどのプロジェクトは高いポテンシャルがある。 ・ これらのプロジェクトを行うことにより、環境管理、生物多様性、エコツーリズムの普及、侵食や荒廃への対応などの相乗効果が期待できる。 ・ 中央政府の協力を得ながら、地方での制度作りをしていきたい。 ・ 会場から「小規模農場が CDM のスキルを身につけるのは難しいのではないか?」との質問があり、「ミシオネスではこれまでも養殖やタバコ栽培などで事業者同士の共同体性が構築されている。バイオマス関連についてもワークショップを開きキャパシティビルディングをしていきたい」との回答があった。 <p><UNDP></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ UNDP では温室効果ガス削減プロジェクト(特にエネルギー分野)、小規模 CDM、エネルギー効率改善、運輸、吸収源、農業、生物多様性などを重点項目と位置づけている。 ・ これらを CDM で行う際は、途上国の参加、プロジェクト参加者相互の利益となること、キャパシティビルディングなどに注力する必要がある。 ・ 適応策も同様に重要であり、NAPA - LDC ファンド(UNDP-GEF)の活動を行っている。これまでは温暖化による影響の予測が主な関心事だったが、現在は適応策の実施段階に入った。今後は脆弱性の低減やリスクマネジメント、短期的な適応から中長期的な適応策へと対策を進める必要がある。 ・ CDM を行うにあたり困難なことは、CDM の制度が難しいこと、人材不足や体制の未整備などが挙げられる。また、環境に熱心な国ほど CDM に懐疑的である傾向がある。CDM が市場を動かすほどの影響力を持つにはまだ時間がかかるだろう。 ・ キャパシティビルディングに際しては、経済発展を視野に入れた政策決定能力を培う必要がある。

これは会議主催者による公式議事録ではありません。引用はお控えください。
This is not an official record by the meeting organizers. Do not quote.

	<世界銀行> ・ Bio Carbon Fund の紹介。
資料	なし

文責：川村美穂子